

日本体操学会第7回大会プログラム

日本体操学会第7大会は「地域を元気にする体操を」をテーマに開催します。

◆日程 平成19年9月8日（土）

基調講演・教育講演・ワールドジмнаストラダ2007報告・懇親会

11:00-12:00	日本体操学会理事会（体育館 ゼミ室）
13:30	受付（12号館5階 12501教室）
14:00-14:20	開会式・挨拶 伊利 仁（第7回大会会長 坂戸市長） 春山 国広（学会会長 筑波大学名誉教授） 金子 嘉徳（大会組織委員会委員長 女子栄養大学）
14:20-15:10	基調講演 「市民・行政・教育機関・企業との連携による健康づくり」 國枝 寛（坂戸市役所総合政策部健康づくり政策室室長）
	休憩
15:20-16:30	教育講演 司会・進行 吉中 康子（京都学園大学） (1)「健康遊具の現状」(15:20-15:40) 竹下 富美子（日都産業技術部デザイン課デザイン担当主任） (2)「マルチメディアを活用した健康教育」(15:40-16:00) 藤倉 純子（女子栄養大学専任講師・保健学博士） (3)「市民・行政が求める体操指導者」(16:00-16:30) 家入 香代（とちぎ健康福祉協会事業部研修課主査）
	休憩
16:40-17:20	ワールドジмнаストラダ2007報告 司会・進行 長谷川 聖修（筑波大学） 報告 荒木 達雄（日本体育大学）他
	休憩
18:00-20:00	懇親会（5号館2階 文化表現ホール）

※学会参加に際しましては、運動可能な軽装でお願いします。

主催 日本体操学会 主管 日本体操学会第7回大会組織委員会
 共催 坂戸市
 後援 日本体操協会 埼玉県 埼玉県レクリエーション協会
 NHK 埼玉放送局 朝日新聞西埼玉支局

本大会への参加は、健康運動指導士・健康運動実践指導者、THP 指導者資格更新時の単位として認められます。

問い合わせ先/日本体操学会 第7回大会組織委員会

〒350-0288 埼玉県坂戸市千代田 3-9-21 女子栄養大学栄養学部 実践運動方法学研究室内
 大会組織委員長 金子嘉徳

TEL/FAX : 049-284-3472 E-mail : kaneko@eiyo.ac.jp
 日本体操学会ホームページ <http://www.taisou.org/>

◆日程 平成19年9月9日(日)

一般発表(ポスター・実技)・公開プログラム・体操の定義・キッズプロジェクト

9:30	受付 (体育館 アリーナ)	
10:00-10:45	一般発表(ポスターセッション) (5号館2階 文化表現ホール)	
	テーマ	発表者・共同研究者(所属)
ポスター1	健康増進施設としての公園利用に関する研究	金子 嘉徳(女子栄養大学)
ポスター2	大学体育授業におけるGボールと体操ボールを用いた体操—学生のアイデア、感想を生かして—	河先 眞弓(工学院大学非常勤講師)
ポスター3	オレロップ体操アカデミーの現状報告と入学動機調査—INTACコースへの留学体験と学生の体操観にふれながら—	工藤 亘(玉川大学)
ポスター4	農業従事者における健康調査—農作業に伴う疲労について—	○小菅真(日本農業新聞) 伊藤由美子(日本体育大学女子短期大学部) 荒木達雄(日本体育大学) 金子嘉徳(女子栄養大学)
ポスター5	体操の概念の変遷について—西田幾多郎の思想をてがかりに—	小柳 将吾(日本体育大学大学院)
ポスター6	ダンス授業における楽しさに関する調査—好き嫌いとの関係に着目して—	長谷川 千里(女子栄養大学)
ポスター7	赤ちゃんとのふれあい遊びの実践	鞠子 佳香(女子栄養大学)
ポスター8	体操による健康の自己管理能力を高めるための取り組み—心身への影響をみる「気づきスコア」を使って—	○三浦 玲子(芝浦工業大学) 小嶋 紀子 澤田 弘子(株式会社マベリックトランスナショナル)
ポスター9	体操とウォーキングを併用した介護予防プログラムの効果—ヘルスアッププログラムの実施に伴う体力の向上と活動量について—	○吉中 康子(京都学園大学) 木村 みさか(京都府立医科大学)
ポスター10	現代の女子大生における歩行について—携帯電話を使用しながらの歩行—	春山文子 生田紘子(実践女子大学) 本間直子(NECエレクトロニクス) ○和田愛子(財)日本食品分析センター)
10:30 受付 10:45 開始		
11:30-12:30	日本体操学会としての「体操」の定義について (体育館 小体育室) 司会進行 金子嘉徳	公開プログラム (体育館 アリーナ) (5号館2階 文化表現ホール) 地域を元気にしたい「私の体操がお役に立てば」 (1) 伊吹 理智子 (NPO法人高齢者のためのADL対応型体操研究会) (2) 岡村 千枝子 (三重県健康体操連絡協議会) (3) 砂田 真弓 (中央労働災害防止協会) (4) 梨木 紀子 (府中市スポーツリーダー) (5) 南 明恵美 (跡見学園女子大学) (6) 長谷川 芳子 (長谷川ジャズ体操研究所)
12:30-14:00	ランチョンセミナー(昼食) 「栄養学」に関するセミナー 石田 裕美 (女子栄養大学教授・栄養学博士) 堀端 薫 (女子栄養大学専任講師・管理栄養士) フードマネジメント実習履修学生	(12号館1階 給食実習食堂)
14:00	総会	(12号館5階 12501)
14:40-15:40	一般発表(実技) (体育館 アリーナ・小体育室)	
	テーマ	発表者・共同研究者(所属)
実技1(アリーナ)	～キャップバッグを使って～ 「誰でも出来る健康づくり」	○伊吹理智子(ADL対応型体操研究会)、押野見順子(ADL対応型体操研究会)
実技2(アリーナ)	中高年者を対象にしたナイロン袋を使った体操の実践例—動きの質のアップと健康づくりへの応用—	野崎 紀子(NPO法人MGLA)
実技3(アリーナ)	歌いながら動きを楽しむ男女ペア体操—2007全日本、2008ワールドカップの規定演技—	○深瀬友香子(目白大学) 板谷厚(筑波大学人間総合科学研究科) 檜皮貴子(東京藝術大学) 栗野まゆ子(日本Gボール協会) 三坂涼子(筑波大学体育科学研究科) 長谷川聖修(筑波大学)
実技4(小体育室)	転ばぬ先のつえは「転ぶ」こと? —JPクッションを活用したグラグラ・ふわふわ体操の効果—	○沖田祐蔵(日本Gボール協会) 板谷厚(筑波大学人間総合科学研究科) 檜皮貴子(東京藝術大学) 白木基之(株サンハース) 長谷川聖修(筑波大学)
実技5(小体育室)	保健センターにおける健康づくり講座の指導内容とその指導方法について—骨盤底筋群の体操を例として—	高岡 綾子(鹿児島大学非常勤講師)
15:50-16:50	キッズプロジェクト (体育館 アリーナ) 大島 林子 (名古屋芸術大学) 瀬戸口 清文 (大妻女子大学・日本遊育研究所) プロジェクト仲間	
16:50-17:00	閉会式 (体育館 アリーナ)	